

多くの来場者と「ふるさと」を共有しました！

10月26日（土）、恒例となつたふるさと祭りも12回目を迎えました。前日までの悪天候で開催が心配されました。天候も午後からは秋晴れで会場の雰囲気も非常に盛り上がりました。

恒例の研修生の国の料理はタコス（メキシコ）、サテ（インドネシア）、タクジョ（ミャンマー）を販売。研修生からの料理の説明もあり、好評でした。今回は例年以上の来場者ということもあり、飲食ブースが殆ど完売で食べられなかつた方もおり、うれしい反面少々残念でした。

研修生の参加型アトラクションは2部にわたつて行われ、5カ国6つのダンスに来場者が一緒になつて踊り、会場を沸かせました。

また、他の出展もそれ來た人を楽しませるブースとなつており、会場が一体となつて「ふるさと祭り」を盛り上げオイスカ、研修生、出展者、来場者皆が楽しんだ1日となりました。ご協力頂いた皆さん本当に有難うございます。（矢野）



綾川推進協議会の松岡会員も来場し、フィナーレの「ふるさと」斉唱ではすばらしいピアノ伴奏を披露してくれました。



研修生のみならず、多くのボランティアに手伝って頂き、実施することができました。

第12回オイスカふるさと祭り開催!!



模擬店販売研修＆かがわ国際フェスタ



試作品作りでは皆の意見を聞きながら完成させました



自分の国を紹介しながらセールトークを磨きます



作ったケーキを皆がおいしく食べてもらえたことがうれしかったです。

1番は、日本語能力試験に合格すること。
2番目は、アクションプランの発表。前にも話したが、人前で話すのは得意ではないので、自信を持って発表したい。発表が終わつても帰国後のためにできることを今から準備する。

10月14日(土)、県内の多文化共生をテーマにアイバル香川で開催された「かがわ国際フェスタ」に研修生が参加しました。このイベントには毎年「お店プロジェクト」という研修の一環で出店し、自分たちで作った国のお菓子を販売しています。研修生は、試作品作りや収支計算、販売などを通して全体的なマネージメントを学びますが、日本語も上達し、研修も終盤に差し掛かってきたこの時期に、自分たちの力が試される場であります。当日までは試作品づくりを繰り返しましたがなかなかうまくいかず、見た目や味などをどこまで日本人向けにするか悩みながらなんとかそれぞれのお菓子を作りました。

イベント中は、販売場所が、入口からすぐで、お客様の目に留まりやすくたくさんの方が、寄つて行つてくださいました。民族衣装を着た研修生や見慣れない海外のお菓子にみんな興味津々で、研修生との話も弾んでいました。最後は全て売り切ることができましたが、お菓子作りや価格設定など反省点もありました。この経験を次の研修に活かしていきたいと思いました。（永山）

Q 10月はふるさと祭り、香川国際フェスタ、綾川町で行われたオータムフェスなど、多くの行事に参加しましたが、心に残っているイベントは何ですか？

Q 研修も残り2ヶ月を切りましたが、頑張りたいことは何ですか？

**とつけき!!!
隣の研・修・生!**

このコーナーでは、毎月研修生1人をピックアップして、研修や生活など、いろんなことを聞いていきます！

第6回目は、メキシコから来たカティです。

カティ's profile



出身国：メキシコ
研修コース：地域開発
誕生日：11月30日（22歳）
趣味：ダンス